

資料2 ごみ処理施設整備状況等について

1 環境クリーンセンター等長期包括的運営管理委託事業

(1) 委託事業の現状

環境クリーンセンターは、平成19年10月から令和4年3月末までの14年6カ月間、(株)エコクリーン江別へ長期包括的に施設の運営管理を委託することにより、毎年度の経費を平準化し、効率的な運営管理が図られ、安定的な稼働を可能としている。

(2) 現行の契約金額（委託期間 平成19年10月～令和4年3月末：14.5年間）

固定費（税込）	変動費（税別）
約127億円	2,602円／ごみトン

(3) 委託契約の延長

長期包括委託の契約期間が令和4年3月末で終了することに先立ち、次の15年間の長期包括委託について(株)エコクリーン江別と協議を行った末、令和2年3月に契約延長に係る基本協定を締結した。現在、同社と価格や条件について更なる協議を継続中であり、令和4年3月末の延長契約締結を目指していく。

基本協定価格（委託期間 令和4年4月～令和19年3月末：15年間）

固定費（税込）	変動費（税別）
約179億円	約3,150円／ごみトン

※令和2年3月基本協定締結

(4) 現行契約との比較（年間）

百万円

	現行契約	基本協定	増加率
固定費	約899	約1,197	約1.3倍
変動費	約95	約113	約1.2倍
合計	約994	約1,310	約1.3倍

※現行：令和2年度実績より

(5) 今後の予定

令和3年度：延長に向けた協議継続

令和4年3月末：延長契約締結

2 環境クリーンセンター延命化

(1) 施設の現状

環境クリーンセンターは、令和4年度で一般廃棄物処理施設の耐用年数とされる20年が経過することから、施設の基幹的設備などについて延命化工事を行うことで、令和18年度末まで延命化する方針を決定している。現在、令和4年度から実施する延命化工事の発注に向け準備作業を進めている。

(2) 延命化工事費

約33億円（4年間）

(3) 今後の予定

令和3年度 : 延命化工事発注準備

令和4～7年度 : 延命化工事（4年間）

令和18年度末まで : 施設供用

3 最終処分場整備事業

(1) 最終処分場の現状

環境クリーンセンターのごみ処理により排出される残渣（灰）などは、最終処分場へ埋め立てを行っているが、現在使用している最終処分場は、令和2年5月の測量では残りの容量が約20%となっており、このまま埋め立てを続けていくと令和10年度中には満杯になると推測される。従って、次期最終処分場の整備に向けて令和3年度から整備事業に着手し、令和9年度中の整備完了を目指していく。

(2) 現在使用している最終処分場の規模等

建設年	埋立容量	埋立面積	残り（残余率）
平成16年	78,000 m ³	34,000 m ²	約20%（令和2年5月調べ）

(3) 今後の予定

令和3年度 : 基本構想策定

令和4年度 : 地域計画策定

令和5年度 : 生活環境影響調査、基本設計

令和6年度 : 実施設計

令和7年度 : プレロード工事

令和8～9年度 : 最終処分場造成工事